

# The University Times

December 2012 Vol. 25

<http://jtimes.jp/utimes>

produced by IELTS by Eiken × The Japan Times ©THE JAPAN TIMES, LTD. 2012

CONTENTS	
■ Visit a Global Company: グローバル企業訪問 新日鐵住金株式会社 ① ②	■ Career Centers: キャリアセンター探訪 明治大学 ④
■ Journalist's Eye: 英字新聞記者の視点 「仕事と育児」/「法律サービス」 ③	■ Learn About Industries: この業界を知りたい! 食品業界 ⑤
	■ Columns: IELTS Hot News / アゴス・ジャパンに聞く 英語プレゼン / 海外の学部 ⑥
	■ News in English 英文記事を読んでみよう ⑦
	■ Studying Abroad in the U.S.A.: 私の米国留学 / 読んでほしいこの3冊 米国留学記 / 書籍紹介 ⑧
	■ Study Abroad Benefits: 留学で培う3つの力 勉強力・国際人材・キャリアプラン力 ⑨
	■ University's Challenge: 国際交流に取り組む大学 お茶の水女子大学 ⑩
	■ IELTS スピーキングテストのコツ ⑪
	■ Crossword and Trivia 読み物 ⑫

## Visit a Global Company: グローバル企業訪問

# 鉄という素材を通して 世界中の国づくりに貢献

## Vol. 15 新日鐵住金株式会社 新日鐵住金

日本の鉄鋼業をリードしてきた新日本製鐵株式会社と住友金属株式会社。2012年10月に両社統合により、新日鐵住金が誕生した。世界最高レベルの技術力で、世界の増大するインフラ需要を支え、社会貢献を果たしていく。

日本の鉄鋼最大手の新日本製鐵と第3位の住友金属工業が2012年10月に統合し、粗鋼生産量世界第2位のグローバル鉄鋼メーカーが誕生した。世界で一番新しい鉄鋼会社、新日鐵住金である。

世界最高レベルの技術力でつくりあげられた高品質の鉄は、日本国内はもちろん、世界中で活用されている。例えば、鉄道用車輪・

車軸は、その高い品質で国内100%のシェアを誇り、鉄道用レールの世界市場においても、「高強度」「高い直線性」「長寿命」でその需要を伸ばしている。また、高効率のポイラチューブは、日本で22基、世界では191基もの超々臨界圧火力発電所で活躍している。

昨今、鉄鋼業を取り巻く環境は、今までに

ないスピードで大きく変化してきている。とりわけ、急激な経済成長を遂げた新興国では、自動車やビル、橋梁、船舶、家電製品などあらゆる産業に用いられる鉄の需要が急速に拡大している。鉄は社会基盤を整備し、経済発展を遂げるために欠かせない素材。「鉄というのは、いわば国をつくっていく素材です」と、人事労政部の柳田さんは語る。

「これからは新興国が国づくりをして発展していく過程にあります。発展していくということは、自動車や船をたくさんついたり、ビルや橋の建設といったインフラを整えたりしていくこと。その中で、鉄が必要になってきます。そういった意味では、これからは日本よりも海外の需要がさらに増してきます。もちろん技術の中心は日本ですが、需要の伸びが長期に見込まれる海外での事業展開は今後ますます重要となってくるでしょう」

海外での拡販を見据えて、新日鐵住金では社員の英語教育にも力を入れている。「入社前に高い語学力を持っている必要はありません。新会社としては、日常の勤務時間の中で、週1回2時間程度の語学教育を導入しています。日々の勤務時間帯の中で語学力を向上しようという研修プログラムです。こうした、いわゆるOffJTに加えて、海外出張や日々の海外とのやりとりの中で語学力の向



人事労政部人事室の柳田拓朗さん

上を図っています」

### 柔軟で多種多様な考えができる人材を

新日鐵住金では、大きく分けて「買う」「つくる」「売る」の3つの仕事があるという。「ひと言で製鉄会社といっても、実にさまざまな仕事があります。例えば、原材料の安定的な調達に携わる仕事と、製鉄所での生産管理やスケジュール管理では、業務内容はもちろん、対応する相手もまったく異なります。

本人の適性を見ながら、部署のニーズや本人の希望に合わせて配属先を決めていきますが、初任の配属がどこであれ、その後いろいろな経験を積みながらキャリアを積んでいくといったローテーションを基本に考えています。国内の事業所でもこれだけ異なる資質が求められる中、今後需要が多く見込まれる海外に向けて、求められる人材は具体的にどのようなものなのか。人事部の柳田さんに尋ねたところ、「採用活動で、『求める人材はこうだ』というのは実はあまり言及していません」という回答が返ってきた。

「日本を含めた世界各地に製造拠点があって、それぞれ独自の文化を持っています。製鉄所の根幹を任けているのは、基本的にその土地の現場の方たちです。そういった、さまざまな文化や価値観・考え方を持っている方たちと、うまく連携を図りながら、ひとつのものをつくりあげていくためには、ひとつの考え方に固執せず、柔軟に多種多様な考え方を受け入れることが大切です。日本国内には製鉄所だけでなく、さまざまな事業所もあります。海外での事業展開を考えても、いろいろな文化の中で成長してきて、いろいろな考え方を持ってきた人が社内によくいた方が、幅広い対応ができるからです」



製鉄所は24時間365日止まることのない



# Visit a Global Company

グローバル企業訪問

入社後も、新人時代にもものづくりの現場である製鉄所で3交代の実習勤務を経験させるのは、多種多様な文化を体得させるためだという。

「鉄づくりに携わる者にとって、ものづくりの現場である製鉄所を知っておくことはとても重要です。実際、われわれ自身はそういった勤務には就かないのですが、製鉄所というのは24時間365日ずっと稼働していて、設備が止まることはほとんどありません。現場で働い

ている方々は、朝昼晩3つのシフトで勤務をしているわけで、そういった現場で働いている方々を知るとか、鉄づくりの工程を知るといことは、その後世界中に鉄を提供していくときに力強い礎となります」

では実際に、採用面接ではどこに注目しているのだろうか。

「皆さんが学生生活においてさまざまな経験をしてきた中で、何を考え、何を選択してきたのか。それによって、その人の強みを探すよ

うにしています」

また、海外旅行やアルバイトを通じて、ひとつの同じような価値観を持った人たちの中だけで過ごすのではなく、異なる文化や考え方の中に自分の身を置いてみることも大切だと柳田さん。「その体験が、柔軟で多様な考え方にきっと役立ちます」

最近では女性の新入社比率も増えているという。女性の管理職も今後は増えていくに違いない。

## 新日鐵住金

新日鐵住金株式会社

2012年10月に新日本製鐵株式会社と住友金属株式会社の統合により誕生した、粗鋼生産量世界第2位のグローバル鉄鋼メーカー。連結売上高5兆円以上を誇り、国家規模のプロジェクトも多々手がける。高級鋼を生産する世界トップレベルの技術力と、ユーザーの世界展開に対応する。国内に16カ所の製鉄所、3つの研究所を持ち、海外にもアジアを中心に各地域に製造拠点を有する。世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展への貢献をめざしている。  
http://www.nssmc.com/

## グローバル企業の先輩に聞く！

### 「売る」「買う」「つくる」を通して 社会の土台づくりに関われる

白壁 友也 さん

新日鐵住金株式会社  
鋼管事業部 油井管・ラインパイプ営業部  
油井管室



2008年、旧住友金属株式会社に入社。入社後、和歌山製鉄所で生産管理に関わる。2011年11月、旧住金の油井管輸出室に配属。2012年11月より新会社となり現部署。

Q お仕事内容を教えてください。

A 現在は入社5年目で、入社してから最初の3年半は旧住金の和歌山製鉄所で生産管理を担当していました。去年の11月に油井管輸出室に異動となり、油井管という、石油やガスを掘って吸い上げるための鋼管の販売を担当しています。

油井管の需要は主に海外で、地域ごとに担当が分かれています。私は、中近東地域をひとりで担当しています。

Q 学生時代は中近東が専攻だったのですか？

A いいえ、私の専攻は日本史学で、この業界自体がまったく未知の世界でした。ですが、鉄についての基礎知識は入社前の研修や、入社後の和歌山時代に現場で学べましたし、中近東のマーケットについてはOJTで学ぶなど、日々の業務の中で勉強しながら習得しています。

Q 英語レベルはどの程度必要ですか？

A ある一定レベルの語学力があれば大丈夫です。私も、学生時代は特に英語の勉強はしてこなかったため、入社後の社内研修制度を活用して英語を勉強しました。ビジネスで使う英語は決まったフレーズが多く、日常会話ができ、英語を勉強しようという意識があれば、留学経験がなくても、帰国子女でなくても、問題なくやっていけると思います。

とはいっても、現地のお客さまの生の声を聞くということは、営業する上では非常に大事なことでと考えています。ですので、英語の勉強はしておいた方がよいのではないのでしょうか。

Q 新日鐵住金のよさは？

A なんとといっても、社会の土台づくりに関われるということです。また、「売る」「買う」「つくる」といった、さまざまなバリエーションの仕事ができるので、40年働いても飽きる暇がないと思えるのは、大きな魅力ではないかと思えます。

Q やりがいを感じるのはどんな時ですか？

A 言葉も文化も違うお客さまから、最高レベルの評価と信頼をいただいた時です。温めていた新製品をある国のお客さまが「トライアルで買ってほしい」と言ってくれたことがありました。実際に使っていただいたところ、非常に良い評価をいただいた上に、周りのお客さまにも勧めてくださいました。

また、品質はもちろんですが、納期を必ず守るとい日本社会では当たり前のことが高く評価され、信頼していただいたのはとても嬉しかったです。

Q 一番大変だったことは何ですか？

A まだ新人だった和歌山製鉄所時代にカルチャーショックを受けたことです。製鉄所には独自の文化があって、現場で働く方々はみな、その地域を支えてきたという自負とプライドを持っています。しかも、年齢も自分の父親より年上の方たちばかりですから、最初は違和感を覚えました。お互い求める方向が同じだということが分かり乗り越えていきました。

さまざまな文化の方と接していくのに、最初の関門だったと今では思っています。

Q 今後の目標を教えてください。

A 自分の扱っている製品をもっと世界に売り込んでいきたいです。アフリカ、ブラジル、インドといった国々は、今まさに国づくりが行われています。石油やガス開発に使われる鉄の提供を通じて、地域や社会を潤すお手伝いのできたら嬉しいですね。

価格だけでなく、納期や品質を武器にしな



油井管は海外での需要が多い

がら、世界中に当社の製品を広めていけたらいいなと思っています。

Q 学生へのアドバイスをお願いします。

A 入社するにあたっては、エキスパートになるんだという気概を持ってください。オールマイティにエキスパートになる必要はありませんが、少なくとも自分が担当しているところに関しては誰にも負けない、という意気込みを持つことは、社会人として仕事をしていく上で重要だと思います。

そのためには、学生時代に思い切り自分の好きなことに打ち込むこと。自分の好きなことに関して、眼をキラキラさせながら話ができ、肩肘張らずに自然体でワイワイ楽しめる、そんな人になれるための材料を学生時代にたくさん探してください。そういった経験が、うまくコミュニケーションできる基盤をつくってくれます。

新日鐵住金は、まだ生まれて間もない会社です。でも自分がやりたいと思ったことは、自由にやらせてくれる会社。責任は重いですが、その分やりがいも大きいです。ぜひ一緒にワイワイ楽しみましょう。

### 白壁さんの お仕事アイテム



「お客さまのひと言から次の戦略を考えるため、メモ欄の充実した手帳は必須アイテムです。いろいろ試しましたが、このサイズが一番いい。私の大事な仕事の相棒です」



## Journalist's Eye

英字新聞記者の視点

## 日本のニュースを英語で発信しよう！

英字新聞 The Japan Times 記者が語る  
日本の「今」を世界に伝えるための心得

—— Vol. 15 by Ayako Mie

日本で起こっていることを外国人に伝えるには、物事の背景を理解し、分かりやすく説明するスキルが求められる。このコーナーでは、記事をより深く理解し、自ら説明できるようになるためのコツを英字新聞 The Japan Times の記者に教えてもらう。今回は、日本の社会の中での仕事と育児の両立と、新たに始まった日本在住外国人への法律サービスについて、三重綾子記者に伺った。



今年8月に内閣副報道官となった小野日子さん

## ■日本の女性も子育てをしながらキャリアが築ける？

- Hikariko Ono, a top government spokeswoman, is determined to show the world that working mothers, in spite of the struggles of juggling careers and family life, can have it all in Japan.
- 日本政府で女性としてはトップの報道官である小野日子さんは、キャリアと家庭生活を両立させるために闘う必要はあるが、日本でも働く女性が望むものを手に入れることは可能であることを、世界に示したいと考えている。

世界経済フォーラムが10月にまとめた The Global Gender Gap Report (男女格差報告)によると、日本は世界135カ国中101位で、特に政治や経済の分野で格差が大きいことが分かりました。日本の女性の就業率は約60%と、以前より上がってきてはいるのですが、アメリカやイギリスなど他の先進7カ国のほとんどが約70%であることを考えると、まだまだ低い数字であると言わざるを得ません。

日本では、結婚後出産を機に、約70%の女性が仕事を辞めてしまいます。育児と仕事を両立させるのが大変であるとい

うのがその大きな理由ですが、いったん仕事から離れてしまうと、経験が浅い中で再就職するのは容易なことではありません。そんな中、子育てをしながら外務省でキャリアを築いてきた小野日子さんが、8月に内閣副報道官の職務に就いたと聞き、どのように育児と仕事を乗り切ってきたのか、伺いました。

## 育児と仕事を両立、内閣副報道官に

1988年に小野さんが外務省に入省したとき、同期の26人のキャリア外交官の中で、女性は1人だけでした。男性に囲ま

れながらキャリアを積み重ね、その間に結婚、出産を経験。現在は9歳の男の子の母親です。

小野さんの夫も外務省勤務とのことですが、最も忙しい時は2人そろって午前2時帰宅などということもあったそうです。結婚してすぐに子どもを持つ余裕がなく、出産したのは、10年経ってからのことでした。24時間体制の託児所を見つけ、どうにか赤ん坊の頃の子育てを切り抜けてきたとのこと。

「女性にとって、日本は必ずしも働く環境が整っている国だとは言えませんが、私のように子どもを育てながら日々忙しく働いている女性もいるのだということ、世界の人に知ってもらいたいと思います」という小野さんは、2009年に Global Moms Network (グローバル・ママ・ネットワーク) というグループを立ち上げ、グローバルな社会の中で生きていくことができる子どもを育てようと、同じ考えを持つ母親たちとともに、イベントや交流会などを開いています。

## 女性の社会進出が経済向上に貢献

The Global Gender Gap Report で上位にあるのはアイスランド、フィンランド、ノルウェーといった国で、男性が子育てに参加する割合が高いのと同時に、ひとつの仕事を2人以上で分担するワークシェアリングが進み、育児のための時間を取りやすい環境があります。日本でやはり男性が休みを取りにくいと、女性のほうも、「子育てがあると、高い地位についても責任が果たせないのでは」とためらってしまうことがあるようです。

しかしながら、IMF (国際通貨基金) の調査によると、日本の女性就業率が70%になると、一人当たりGDP (国内総生産) が5%上がり、さらに女性就業率が80%に達すると、一人当たりGDP 15%に上がること、女性の社会進出は、経済の向上に大きく貢献するのです。小野さんの例を見ながら、これからの仕事や結婚、子育てについて、自分なりに考えてみてもらえればと思います。

\* 参考記事 <http://www.japantimes.co.jp/text/nn20121102f4.html>

## ■東京の公設法律事務所が外国人専門窓口オープン

- To meet growing demand, the Tokyo Public Law Office opened the nation's first legal advisory service specifically for foreigners.
- 増大する需要に応えるため、東京パブリック法律事務所は、公的機関としては初めての、外国人のための法律相談サービスを開始した。

東京・池袋と三田に、東京弁護士会の公設事務所「東京パブリック法律事務所」があります。元々は地域の人々の仕事や生活に関するさまざまな法律問題を扱う事務所ですが、今年10月、ここに外国人の問題を専門に扱う部門が設置されることになりました。民間の法律事務所では外国人の問題を扱っているところが数多くありますが、公設事務所としては、初めてのことで

## 英語・スペイン語・韓国語などで対応

同法律事務所は今回外国人部門を開設する前にも、2年の間に約600件、40カ国もの外国人の法律問題を扱ってきました。その多くは入管問題、離婚問題、

解雇といったものですが、こういったケースが増える一方であることから、今回新たに専門の窓口が設置されることになりました。今年7月に入管法が改正され、日本に住む外国人の在留管理制度が変わったことから、法律相談を必要とする人も増えてくるのではないかと、という考えもあったようです。

日本には現在、約200万人の外国人が暮らしていますが、これは正規に登録している人々の数で、不法滞在者などを含めると、さらに数が増えるものと思われます。言葉の壁や情報の不足、または文化の違いといった問題から、外国人が日本で法律の専門家に相談するのは、一般にそう簡単なことではありません。そん

な中、英語、スペイン語、韓国語などを操る6人の弁護士が対応にあたる同事務所は、日本に住む外国人にとって非常に貴重な存在であるといえます。通訳の力を借りることで、多数の国々の人の相談に乗る用意もあります。費用の支払いについては、日本弁護士連合会がサポートします。

不法滞在者や避難民などは、これまで公的な支援を受けるのが難しい立場にありましたが、新しい窓口が設置されることで、そういった人々の法律的な相談に乗る余地も生まれてきました。



東京・三田の東京パブリック法律事務所

## 外国人が働きやすい環境を整える

人口が減少しつつある日本では、現在すでに、海外からの労働力が必要とされています。実際に、政府がインドネシアやフィリピン、ベトナムから看護師、介護福祉士の受け入れを行っています。外国人が働きやすい環境が整っていると、言い難い状況にあります。外国人専門の法律サービスの窓口ができたということは、これからより多くの外国人を受け入れていくために、大きな一歩を踏み出したといえるのではないのでしょうか。

\* 参考記事 <http://www.japantimes.co.jp/text/nn20121016a2.html>

## ●今月の記者●

三重綾子さん  
AYAKO MIE

アメリカのカリフォルニア大学バークレー校大学院でジャーナリズムを専攻、米ワシントン・ポスト紙東京支局などを経て、2012年3月ジャパンタイムズ入社。現在外交・防衛問題などを担当。



## Career Centers

キャリアセンター探訪

## キャリアセンター探訪

大学の就活支援

## 「就職の明治」を支える伝統と革新

## ● 明治大学

志願者数3年連続ナンバーワンを獲得するなど、いま受験生に最も人気を集めている明治大学。魅力的で洗練された都会のキャンパスや、時代のニーズに合わせた学部の拡充など、人気の背景はさまざまあるが、「就職の明治」と呼ばれる就職の強さもその一因となっている。

## 明治人気を支える就職の強さ

「就職に強いと言われているのは、昨日今日に始まったことではありません。例えば、就職キャリア支援事務室には、先輩たちの就活体験をまとめた『就職活動報告書』が過去8年分（毎年2,000名分）ストックされていますが、先輩のアドバイスを参考にし内定を勝ち取った学生が、今度は後輩に向けてメッセージを残していくというのが、明治大学の伝統となっています。私自身も学生時代には参考にしました」

そう話すのは、就職キャリア支援部の福田敏行部長。

同大学では、長年に渡って、多くの企業との関係を築いてきた。そのネットワークを活用し、学内での企業説明会はもちろん、約70の企業の人事担当者を招いての模擬面接を行う機会まで設けている。こうした取り組みに、否が応にも、学生の就職への意識は高まる。

「10月初旬には、本格的な就職活動のスタートとなる『就職・進路ガイダンス』を開催しましたが、その出席率は9割を超えました。これは決してわれわれがお尻を叩いているわけではなく、本学が長年培ってきた就職への取り組みの姿勢が、いまの学生にも浸透しているのだと感じています」

とはいえ、明治大学の就職力は、こうした伝統によるものだけではない。就職キャリアセンターでは、常に新しい取り組みにチャレンジしているが、今年新たに形になったもののひとつが、「就職活動手帳」である。

「例年、就活生にはA4版の『就職の手引き』を配布していましたが、カバンに入れて持ち歩きにくいということで、学生たちからの

評判はよくありませんでした。そこで今年度は大幅なリニューアルを行い、スケジュールや企業研究を書き込めるノートに、従来の就職の手引きの内容を加えた明治大学オリジナルの『就職活動手帳』を完成させました。本手帳は2012年10月から2014年の3月まで、18カ月間のスケジュール管理ができるようになっています。内容に加え、高級感のある見た目も好評で、就職ガイダンスの出席率も5%アップしました」

## 「Face to Face」と「手作り」

明治大学の就職キャリア支援の基本姿勢は「Face to Face」だ。大規模総合大学なので十把一絡げになりがちだが、学生一人一人のニーズに応じて、さまざまなサポートを実施している。

「昨年度の個別相談件数は2万件以上。学生の数から言えば、全員にきめ細かな指導を行うことは難しいでしょう。それでも、それぞれ事情の異なる学生の悩みをなんとか解決してあげたいとの思いから、直接、顔を合わせた相談を大切にしています。また、セミナーやガイダンスといった、学内で行われる支援行事についても、なるべく業務委託は行わず、自分たちによる手作りにこだわっています。企画を考える苦勞もありますが、就職キャリア支援部のスタッフが講師役を務めることも多く、いつも準備に四苦八苦しています。しかし、自分たちで作っているからこそ、学生の反応や手応えをダイレクトに感じることができ、『もう一度やってほしい』といった学生の要望にもすぐに応えることができるのです」

最近では学生のニーズや、就職に対する価値観も多様化している。それに伴い、外資系企業を招いてのフォーラムや、知られざる優良企業の発見を目的とするセミナー、Uターン・Iターン就職を希望する学生への情報提供など、これまではあまり見かけなかったようなイベントも増えているという。

「片や、まだまだ大手企業志向で、5月までに内定が出ないと、就職自体をあきらめてしまう学生もいます。しかし、明治大学には年間を通じて約5,000社から求人票が届きます。多くの企業が明治大学の学生を求めているのです。企業の中には一般公募は行わずに、明治大学の学生に来てもらいたいと、



就職キャリア支援部による相談風景

わざわざ声をかけてくださる企業も少なくありません。学生たちには、なるべく多くの企業に出合ってもらえる機会を増やしていきたいですね」

明治大学と企業の関係性の強さや、明大への評価の高さを表しているのが、4年生の秋から始まる「学内採用選考会」の取り組みだ。これは内定の決まっていない4年生に対して、月に1度、15～20社の企業が大学にやってきて、学内で企業説明会および、1次選考までを実施する。3月に行った選考会では、卒業間際でも内定を得た学生がいる。

昨年末の学内選考会では、あるIT企業に2名の学生が採用になった。入社後に研修も兼ねたコンピュータコンテストに出場した結果、この2名が優勝・準優勝を受賞した。このことに対して、この企業の社長は、人事担当者に対し、「よくあの時期の選考試験でこんな優秀な学生が残っていたな」という言葉をかけられたそうだ。「さまざまな事情から、就活のスタートが遅れてしまったり、周りよりも少し気づきが遅かったという学生はいるはず。そういった学生に対しても、マッチした就職先が見つかるまでは、最後まで支援していきます」

## 子どもの主体性を尊重させる

最近の就職活動の傾向に、親の関心の高まりがある。少子化による将来への期待に加え、数年前には内定取り消し騒動があったことで、就職に定評のある明治大学であっても安心はできないようだ。

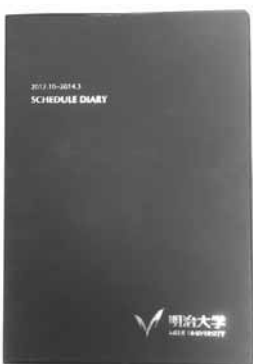
「明治大学では、全国57カ所に『父母会』という、在学生の父母で構成される組織があります。もともと、子どもの学生生活全般について、大学側と地方の父母が懇談する機会を設けようということで40年前に始ま

りましたが、近年は就職懇談会としての内容も増えています。毎年5月から7月にかけて、就職キャリア支援部のメンバーが手分けして全国を回るのですが、どの地区のご父母も、学生たちよりも真剣に私たちの話に耳を傾けてくれます。秋に開催する父母会就職懇談会において、現役の内定者を呼んでの質疑応答コーナーでは、質問途切れることがないほど熱気にあふれています。われわれとしては、希望を持って入学した学生に対して、『出口』の部分についてももしっかりサポートするので、親の考えを押し付けることなく、温かく見守ってほしいということを伝えています」

福田さんは、「相談というと、後ろ向きに感じる学生さん多いと思いますが、難しいことを考えず、気軽に就職キャリア支援センターの門を叩いてほしい」と話す。就職活動には技術的なことも必要だが、それよりももっと大事なものは、一歩前へ踏み出す力と、挑戦の気持ちだろう。明治大学伝統の「前へ」の精神で、これまでにたくさんの学生を応援してきた就職キャリア支援センターは、これからも明大生にとって心強い味方になってくれるはずだ。



首都圏父母会も熱気にあふれている



明治大学オリジナルの「就職活動手帳」

## 明治大学

1881年に明治法律学校として創立。50万人を超える卒業生の中には、政治・経済・文化・スポーツなど各界の幅広い分野で活躍する者も多く、高く評価されている。現在は、駿河台キャンパス・和泉キャンパス・生田キャンパスの3つがあり、教育・研究のための附属機関など最新の施設が整備されている。2013年度には、中野に第4のキャンパスが開設される。



## Learn About Industries

この業界を知りたい!

## この業界を知りたい!

人間にとって必須の三要素は「衣食住」。なかでも「食」が欠けると人は生きていけない。そんな人間の命を支えるのが食品業界。今回はフードアナリストの藤原浩氏に、日本の食品業界の現状と今後の動向を伺った。

## メーカーのM&amp;Aとグローバル化

日本経済を取り巻く環境は厳しい。単純に経済の伸びが鈍化しており、少子高齢化による国内市場の縮小はこれからより進んでいく。原料コストの変動リスクは以前よりも高まっている。

「人間生活の根幹を司る『食品業界』においても、厳しい経済環境に変わりはありません。そして、これまでに製造業で起こってきたことは、近い将来に食品業界でもかならず起こる。具体的に何が起こるかという、M&Aによる業界の再編、そしてグローバル化でしょう」

フードアナリストの藤原浩氏はこのように考えている。

まず、他業種と比較して、日本の食品メーカーは小さな企業が多い。2009年の野村総合研究所が発行した資料によると、2008年の売り上げで世界ベスト10に入った食品メーカーは日本たばこ産業1社のみ。純粋



な食品メーカーとなると、11位のキリンHDが最上位である。日本の食品メーカーは世界的にみると小規模なのだ。さらに、収益率も他の世界企業と比較すると水準は低い。売上高営業収益率ランキングでベスト50に入ったのは日清食品HD(49位)とカネカ(50位)だけ。両者の収益率は7%少々であり、その他の日本の有名な食品メーカーは軒並み収益率5%を割り込んでいる。

「日本市場は横ばいから縮小傾向。食品業界は国内市場への依存度が高いため、売り上げを求めるためには、世界展開を推し進めていく必要があります。またスケールメリットを追求していくのも必須です。M&Aを中心とした国内外の業界再編も進んで行くと考えられます」

実際、2000年代頃からその芽は出てきている。過去10年の間に、食品業界では相次いで大型M&Aが行われている。アサヒビールによるキャドバリー・シュウエップス・オーストラリアの買収、キリンHDによる協和発酵やナショナルフーズの買収、日本たばこ産業による加ト吉の買収、そして味の素のカルピス買収など。同業や近い業種とのM&Aによる業界再編は進みつつあるのだ。

ただしM&Aでスケールメリットを求めても、肝心の市場が小さければ収益を上げるのは難しい。そこで重要になってくるのがグローバル化である。

「日本は独自の食文化を持った国。世界に受け入れられるのは難しいという声もありますが、それは間違っています。むしろ今、日本の食文化は世界で評価されている。例えば1970

年代にフランス料理界で流行した『ヌーヴェル・キュイジーヌ』という潮流は、素材を生かした日本料理がヒントになっています。日本のドメスティックな調味料と思われがちな醤油の消費量も世界的に増えており、ミシュランの三ツ星を獲得する海外のレストランで醤油を置いていない店は数軒しかありません。今や世界の主要都市ですし食べられない町を探す方が難しいでしょう。これまでグローバル化を進めてこなかった分だけ、日本の食文化の伸びシロは大きい。追い風が吹いているといっても過言ではありません」

「外食産業についても話を聞いた。震災の影響による落ち込みはありましたが、今年の下半期は持ち直してきています。百貨店のレストランには、震災以前よりも売り上げを上げている店もあります。ただし、特徴的なのは、客数が減って単価が上がっている点です」

一般的に、不景気時には客単価が下がることが多いという。しかし現在の外食産業ではそれ逆のことが起こっている。「身近な楽しみである『食』にお金をかける価値を大切に人が増えたのでしょう。またインターネットやブログやフェイスブックなどで、情報を簡単に調べることができるし、自分がメディアになれる時代の影響もあると思います」

これまでは一部マスコミの人間が、レストランの情報を発信していた。プロのレポートを読んだ上で、本当にそこがコストパフォーマンスに見合った店かを知るためには、自分で足を運ぶ必要があった。しかし、現在はたくさんの店に通わずとも、数多の情報を仕入れることが可能になったのである。

「最近の外食産業はユーザーがネットに情報をアップするのを意識しています。店内撮影を認めている店は多いし、撮影時に見栄えがよいように皿の少し手前に料理を盛り付ける店もあつたりする。これからも、ネットを意識した経営戦略は重要になってくるでしょうね」

## これからの業界に求められるもの

ここまでは売り上げや収益の話を見た。ただし、食品業界にはそれよりも重要なことがある。「それは安全性と安心感です。これまで日本

の食品業界は『価格』を正義にしてきた。安ければ安いほど消費者が商品に飛びついた。しかし安い商品を作ろうとすると、どうしても安全性がおろそかになる。しかし、2000年代に相次いで起こった食品偽装問題などをきっかけに、消費者が重視する価値観が『安全性』や『健康』へとシフトしている」

これは企業へ対する調査でも明らかになっている。2009年に行われた「国内食品業界における中長期的な展望に関する意識調査」でも、現在の経営課題に「安全・安心への対応」をあげた経営者が最も多かった。

「2011年に起こった原発事故も、安全性や健康に対する意識にさらに拍車をかけたと思います。『おいしいもの、体にいいものは、それなりの価格になる』といったコンセンサスが、メーカー・消費者ともにできつつある。利益を追求するために安全性を軽視すると、必ずメーカーにしっぺ返しがやってくる」

安全・健康は何も日本の食品業界だけのテーマではない。

「数年前に世界中を騒がせた狂牛病問題も、元はといえば、牛を早く成長させるために肉骨粉を与えたのが原因でした。安全意識が違う国からの輸入の加工品には、安全性が確認されていない食材を使用した食品もあります。TPPなど貿易自由化が進むと、世界中の消費者は世界中から輸入された商品を手にすることができるようになる。そのとき、消費者が何を重視するか。価格に重きを置く人もいるでしょうが、大多数は安全性や健康を考えるとみている」

最後に、これからグローバル化が進むであろう食品業界。この業界が求めているのはいかなる人材なのだろうか。

「逆説的な話になりますが、求められるのは、日本の伝統と文化を学んだ人間です。緩い地盤にビルを建てても、それはすぐに傾きます。日本文化をしっかり勉強して、世界でそれを生かせる人間を要しているのではないのでしょうか」

## ■藤原浩

フードアナリスト、日本フードアナリスト協会常任理事/検定試験委員。食の専門家としてテレビをはじめ多くのメディアで情報発信を行うとともに、イベントなどの企画や講演など幅広く活躍中。食文化の研究にも力を入れている。

世界基準のビジネス英語能力テスト

# BULATS

The Business Language Testing Service

世界約47カ国1,172団体、  
日本でもすでに350以上の企業・団体が採用

詳細は [www.eiken.or.jp/bulats](http://www.eiken.or.jp/bulats)

お問い合わせ tel 03-3266-6366

mail [stepbulats@eiken.or.jp](mailto:stepbulats@eiken.or.jp)

## 世界と繋がるために

Are you sure your message is getting through?

### BULATS

Fast, reliable,  
and global



## IELTS Hot News

第2回「理系院生のための英語プレゼンテーションコンテスト」が11月3日(土)、大阪府豊中市の大阪大学豊中キャンパスで行われた。海外でのプレゼンテーションや英語の論文執筆の機会の多い理系学生のため、大阪大学、公益財団法人日本英語検定協会、ジャパントイムズが昨年引き続き共催している。

### 理系にも必須の英語

理系院生は英語を使う機会が多い。海外の論文を読むことなど、英語情報のインプットは日常茶飯事だが、プレゼンテーションや論文執筆などのアウトプット面でも英語は必須だ。また、理系学生には海外の研究者との共同プロジェクトなども多い。

「私は博士課程なので英語のペーパーを書くのは必須です」と大阪大学医学系研究科で公衆衛生を研究している若林真美さんは、プレゼンテーション前に語った。学会で英語スピーチをする機会も少なくないという。若林さんの他に、4名の大阪大学生、1名の大阪府立大学生がコンテストに参加、それぞれが15分のプレゼンテーションを行った。

それぞれのプレゼンテーションの後で、コンテスト参加者は審査員の質問に答えた。審査員は、工学博士であり大阪大学大学院工学研究課の寺井智之講師、ビジネススキルと英語のトレーニングを提供するアスパイアコミュニケーションズ代表取締役クラス・リーゼ氏、ジャパントイムズでバイリンガル

週刊紙の『週刊 ST』編集に携わるマーク・デイビス氏の3人。

### レベルの高いプレゼンテーション

審査の結果、1位は大阪大学工学研究科精密科学専攻の對馬哲平さんに決まった。柔らかく折り曲げ可能なプラズマディスプレイについて発表した。對馬さんのプレゼンテーションでは、折り曲げられたディスプレイに動画が映されたスライドがあり、これについてデイビス審査員は「この技術は本当に必要なのですか?」と質問したところ、對馬さんは「これは未来的であり、人類の夢です」



3名の審査員



レベルの高いプレゼンテーションが行われた

と答えた。問答はもちろん英語で行われた。對馬さんは「仕事で英語は当然使うつもりですが、違う専門の人ともコミュニケーションできなければいけないと思います」と話し、英語学習に対する意欲を見せた。

2位は、大阪大学工学研究科所属で、柔らかく折り曲げ可能な有機 TFT のディスプレイについてプレゼンテーションしたト暁辰さんに決まった。彼の研究室で開発した有機 TFT ディスプレイはソニーの有機 TFT と品質に大きな差はない、と発表した。

3位は、大阪府立大学理学系研究科の徳田一起さん。彼のチームが開発した電波望遠鏡について発表した。チリで電波望遠鏡関連の国際プロジェクトがあるなど、徳田さんは英語を使う機会が今後増えると考えている。「そういうのために備えようと思(このコンテストに) 参加しました」と語った。

### 話す相手によって言葉を選ぶ

前述の若林さんのプレゼンテーションは、ベトナムの村における高齢者の収入と高血圧との相関性に関するものだった。大阪大学工学研究科生命先端生物学専攻応用生物学コースの田中友佳子さんは抗癌薬について発表、大阪大学大学院情報科学研究科の松嶋裕太さんはポリアミドという化学物質について発表した。田中さんは「今は研究室でしか英語でプレゼンしていませんが、今後は一般の人にも説明できる場があればよいと思います」と話した。

リーゼ審査員によると、「プレゼンテーションするときは、話している相手によって話し方や言葉を選ぶ必要があります。科学者でない人たちに話すときは簡単な言葉を使う必要があります」とのこと。コンテスト参加者はもちろん、理系院生はこのコメントを参考に、自身の研究などにも生かしてほしい。



授賞式の様子

## アゴス・ジャパンに聞く

### 海外の気になる学部



by 株式会社アゴス・ジャパン  
後藤道代

環境問題が国際的に注目されるようになったのは、1992年の環境と開発に関する国際連合会議(地球環境サミット)にて気候変動枠組条約が採択されてからです。

研究の中心を担うのは、最新技術開発を行うエンジニアリング(工学部)ですが、化学、物理学、数学、環境学、経済学、公共政策と多分野がクロスオーバーする、まさに新しい学問です。基盤となる知識が必要となることから、理系(工学部)の修士課程が多いのですが、学士課程を持つ大学もあります。いくつかの大学を紹介します。

#### 環境先進国ヨーロッパの大学

まず、環境問題に意識が高く、環境先進国と呼ばれるヨーロッパです。ヨーロッパで学ぶとなると言語が障壁となりますが、インターナショナルプログラムとして英語で授業を行うスウェーデンの大学を紹介します。KTH Royal Institute of Technology(1872年設立のスウェーデンの6つの工科大学の中で一番歴史がある)には、Sustainable Energy Engineeringの修士コースがあります。プログラムの構成は①持続可能発電、②持続可能エネルギー利用、

③太陽エネルギーの3つの専門があり、それぞれ選択した分野に関連した大学研究施設や、産業界、政府研究機関で5、6カ月間の実務経験を組み入れたプロジェクトを行います。

また、デンマーク、ノルウェー、フィンランド、アイスランドとパートナーシップを結び、Nordic Masters(北欧修士)プログラムに参加しており、共同研究やインターンを相互に行うことで連携しながら最新技術開発に取り組んでいます。

#### 研究が進むアメリカの大学

環境経済学が進んでいるアメリカでは、エネルギー研究施設は圧倒的に中西部に集中しています。中でも環境問題への地域の意

#### 再生可能エネルギー研究プログラムを持つ大学

国	大学名	プログラム名
アメリカ	Oregon Institute of Technology	Bachelor of Science in Renewable Energy Engineering Master of Science in Renewable Energy Engineering
アメリカ	University of Michigan	Master of Engineering Sustainable Systems
オーストラリア	Murdoch University	Master of Science in Renewable Energy
カナダ	University of British Columbia	Master of Science in Clean Energy
スウェーデン	KTH Royal Institute of Technology	Master of Sustainable Energy Engineering

今回は、急速に国際的な重要課題として議論されるようになってきたエネルギー分野を紹介します。国際政治問題として議論される課題は、解決に向けて学術研究が進んでいきます。日本では最重要課題のひとつとして、産学官民が連携して革新的エネルギー・環境戦略に取り組もうとしています。海外の大学ではどのような状況なのでしょうか。

識が非常に高い北西部、オレゴン州では、再生可能エネルギーへのシフト気運が高く、まさに地域が生んだ産業ともいえます。再生可能エネルギー工学で最初の学士プログラムはオレゴン工科大学に2005年に設立されました。再生可能エネルギー開発は、石油、石炭、天然ガスなど、利用時に地球温暖化や空気汚染のもとになる有害物質を排出する化石燃料への依存から脱却して、太陽光、風力、水力、地熱など自然界に存する非化石エネルギーを利用するための技術開発です。この学士プログラムでは、基礎コースとして数学、物理、化学を固め、電気・機械などの工学コースに進みます。専門コースでは、再生可能エネルギー地熱、バイオ燃料、風力、光電池などを学び、送電システム、エ

ネルギーマネジメントや監査など、技術だけでなく、エネルギー供給に関わる管理についても学びます。

#### キーワードはサステイナブルな未来

卒業後の進路も、エネルギー系民間企業をはじめ、機械産業や環境関連産業の技術研究職、政府研究機関、非営利団体と幅は広がり、将来の人類の営みを持続可能(サステイナブル)なものにリードしていく、高い専門知識と技術を持った人材が求められることでしょう。

#### 株式会社アゴス・ジャパン

大学・大学院留学のテスト対策、出願対策の指導専門校。トップ校合格に必要な各種英語テストの攻略法および出願カウンセリング指導により、過去3年間で約2,500件以上という、圧倒的な合格実績を誇る。大学でのテスト対策講座なども行っている。

#### 後藤 道代 (ごとう みちよ)



留学カウンセラー歴18年、アゴス・ジャパン学部留学担当、インディアナ大学教育大学院、言語教育学修士、プリティッシュ・カウンスル公式資格取得カウンセラー



## News in English

英文記事を読んでみよう

This month's selection from The Japan Times

## The multi-faceted Ishihara clan

Jun Hongo  
STAFF WRITER

The Ishihara family trails the Hatoyama clan 2-0 in prime ministers. But when it comes to the variety, prominence and celebrity of each member, not many families in Japan today can compete with the Ishihara bunch.

Following are questions and answers regarding the Ishihara family, whose members include politicians, an iconic movie star, a weatherman, an artist, an actresses and the fire-breathing former Tokyo governor, Shintaro:

**Who is the most prominent member?**

Shintaro Ishihara, 80, who until recently was governor of Tokyo, may still be making headlines today and seeking a comeback to the Diet, but the true star of the family is arguably his late younger brother, movie star Yujiro Ishihara.

Considered one of the biggest entertainment icons of the Showa Era, Yujiro joined Nikkatsu Motion Picture Co. and debuted in "Taiyo no Kisetsu" ("Season of the Sun") at age 22. The movie was based on the prestigious Akutagawa Award-winning novel written by Shintaro.

The book and the movie, about a rebellious youth and his struggles, defined the generation of the time. It also sealed Yujiro's iconic status.

Yujiro had hit songs and also a string of successful TV series featuring him as a classy police chief.

Yujiro died from liver cancer in July 1987 at the age of 52.

Shintaro, upon announcing his candidacy for Tokyo's gubernatorial election in 1999, began his speech saying, "I am Yujiro's older brother." It is also one of his anecdotes that when he first ran for an Upper House seat in 1968, approximately 80,000 ballots were declared void because voters wrote Yujiro's name instead of his.

**Who are Shintaro's four sons?**

The oldest is Nobuteru, 55, who recently served as secretary general of the Liberal Democratic Party. He lost the September LDP presidential race to former Prime Minister Shinzo Abe.

Nobuteru served as land minister in 2003 and 2004 under Prime Minister Junichiro Koizumi. He was a political reporter for NTV before winning a seat in the 1990 Lower House election.

The other politician in the family is third son Hiroataka, 48, who turned to politics after working at Mizuho Financial Group. He won his first Lower House election in 2005 but lost his seat in 2009 when the Democratic Party of Japan won a landslide.

Second son Yoshizumi, 50, is the oddball of the clan. He opted to pursue a career in acting through his late uncle's ties in the entertainment industry.

In 1997, he became a licensed weather forecaster and appears daily on evening news programs.

Yoshizumi also makes regular appearances on variety shows as well as in commercials, including one for the NTT group.

Shintaro's youngest son, Nobuhiro, is a contemporary artist who seldom comes under the media spotlight.

**What was it like for Shintaro to have four sons?**

With all his four children now married and moved out of the home, Shintaro wrote in his 2005 book "Musuko-tachi to Watashi" ("My Sons and I") that he feels his task as a parent has completed.

"But without anyone at home, it feels a bit empty and lonely," he wrote.

**Do the four brothers share anything in common?**

All four graduated from Keio University, but according to Yoshizumi, each had different styles when it came to studying.

**Who are some of the prominent**

Father figure: Shintaro Ishihara, his wife, Noriko, and their son Nobuteru appear before the media after Ishihara is elected Tokyo governor for the first time in April 1999. KYODO

**women in the Ishihara family?**

Yujiro's wife, Makiko, was an actress until she retired upon marriage in 1960. She now runs Ishihara International Production Inc., a management company that includes actors who had close ties with her late husband, including Tetsuya Watari, Hiroshi Tachi and Masaki Kanda.

The Ishihara Gundan (Ishihara Army), as these actors are often referred to, endorse and support election campaigns by the Ishihara clan.

Nobuteru's wife, Risa, is a former news-caster and an actress.

"I get reminded of the movie 'The Godfather' whenever (the Ishihara) family gets together," she wrote on her blog last year.

**Does the Ishihara family hail from a distinguished background?**

Shintaro and Yujiro's father, Kiyoshi, worked for a transport company and did not have a notable background.

However, there is a link between the Ishiharas and Junichiro Koizumi's family.

According to reports, Shintaro's wife, Noriko, is the cousin of Koizumi's brother's

father-in-law.

**How close did an Ishihara ever get to becoming prime minister?**

Shintaro ran in the LDP presidential race in 1989 but lost, gaining only 48 votes against winner Toshiki Kaifu's 279. Kaifu was later named the prime minister.

Nobuteru, meanwhile, ran twice for the LDP helm. His first challenge in 2008 ended with 37 votes, falling far short of the 351 amassed by Taro Aso. In his second run two months ago, he won 96 votes and ended third behind Shigeru Ishiba and Shinzo Abe.

**How wealthy is the Ishihara family?**

According to figures revealed last year, Shintaro is worth approximately ¥170 million, including his home in Tokyo and a villa in Kanagawa Prefecture. His assets include about ¥58 million in cash as well as two cars, two yachts and three country club memberships.

Yujiro was often ranked as one of the top-earning celebrities throughout the late 1960s and the 1970s, including in 1967, when he earned approximately ¥50 million.

# 英文ライティングに自信がつく!!

The Japan Times  
**GRAMMAR BOOSTER**  
英語学習次世代システム

和文英訳を  
コンピュータが  
自動で採点!!

GRAMMAR BOOSTER

検索

あなたの弱点が  
すぐわかる!  
できるまでやれる!

ビジネスマン向け  
課題コーナー追加  
しました。

目的

英文法完全マスター。  
ライティング能力の引き上げ。

方法

和文英訳を最新の技術が  
分析、学習履歴を視覚化。

料金

7,854円(税込) 1ユーザーあたり

1回のお支払い(前払い)で6ヶ月間(180日)利用が有効なID/パスワードを発行致します。

対象

英文法を  
きちんと学び直したい方。

## The Japan Times Grammar Booster とは .....

レベル判定 (Ability check) と学習 (Study course) がセットになった E-learning システムです。和文で問題が提示され、学習者は英訳します。コンピュータと最新の技術により、学習者は英文法を効果的に学習し、適切な語彙と文法を用いたライティングができるようになります。

©The Japan Times, Ltd. ©The Japan Institute for Educational Measurement, Inc.  
The Japan Times Grammar Booster は教育測定研究所よりサービス提供を受けて株式会社ジャパントイムズが販売しています。

▶▶▶ <http://www.japantimes.co.jp/study/> 株式会社 ジャパントイムズ 〒108-8071 東京都港区芝浦 4-5-4  
TEL: 03-3453-5421 FAX: 03-3453-8023



# Studying Abroad in the U.S.A.

私の米国留学

Studying Abroad in the U.S.A.

## 私の米国留学

アメリカ留学も IELTS の時代へ

～ IELTS はアメリカの約 3,000 の大学・プログラムで認定されています～

アメリカの大学や大学院では、これまで多くの日本人学生が学んできました。そして現在もまた、夢を抱いた学生たちが留学しています。彼らはどんな留学生活を送り、留学で何を感じたのでしょうか。このコーナーでは、留学経験者や現在留学中の学生に、留学の様子やメリット、英語学習、アメリカの魅力などについて伺います。

本コラムは以下の 2 団体の協力により連載をしております。

■ JTSAU(米国大学院学生会)http://gakuiryugaku.net/ ■ USCANJ(アメリカ学部卒業生ネットワーク)http://www.uscanj.net/



### 街の人々や学生たちから多くを学ぶ

シンシナティ大学大学院 張 協中さん

#### コネよりも実力

私は中国で生まれ、日本で育ちました。北海道大学で建築を学んだ後、アメリカで国際開発を勉強し、将来はグローバルに多くの都市計画に携わりたいと思い、情報誌などを参考にシンシナティ大学を選びました。

大学院生の授業時間は学部生に比べるとかなり少なく、私の場合は 1 週間に 15 時間ほど。ただ、各授業の課題が多いため、図書館やコンピュータールームで勉強したり、学校のカフェでグループワークをしています。今ではアメリカの生活にも慣れ、金曜日の夜には、友だちとバーに行ったり、パーティーを楽しんだりしています。

アメリカは良くも悪くも実力主義です。能力が高い学生や経験がある学生には、Teaching Assistant (教育助手) の依頼や奨学金応募の資格、プロジェクトの案内といった機会が自然に集まります。しかも、そういったチャンスがあるかないかの違いがとても明白に現れます。アメリカではコネよりも実力が重要だと実感しています。

#### 伝えようという気持ち

英語でのコミュニケーションは自信を持って、堂々と話すことが重要です。相手に伝えようという気持ちがあれば、話し相手も理解しようとするので自然と意味が伝わります。私も speaking



昨年のハロウィーンでクラスメートと

や writing はまだまだですが、自信を持って伝えようとしているのでコミュニケーションには問題はありません。

私は、シンシナティという街に輝きを取り戻そうと協力しあって動いている人々や、大学の学習環境をより良いものにしようと一生懸命に取り組む学生のエネルギーやビジョンに触発されるようになりました。そして去年は都市計画大学院の 1 年生代表として上級生と協力しながらクラスメート同士が良好な関係を築けるように尽力し、インターン先の NGO では地域活性化を促すために市からの助成金の配分を担当しました。ここアメリカでは、何か面白いことにチャレンジしようとする人々に対してとても寛容です。

#### 張 協中さん プロフィール



1987 年生まれ。大学卒業後の 2011 年、シンシナティ大学大学院に留学。現在、修士課程 2 年。



### 勉学に集中できる良い環境

会社員 (コルビー大学卒) 西野 麻理さん

#### お互いの文化を学び合う

16 歳の時に、親の転勤でカリフォルニア州に移住しました。高校を卒業して早々に日本に帰ることは自分のためにならないと感じ、アメリカでの大学進学を決めました。小さな全寮制の学校で、さまざまな科目を学び教養を深められる学校がよいと思い、リベラルアーツカレッジに絞って探し、メイン州のコルビー大学に入学しました。

専攻が生化学だったため必須科目が多く、授業や実験で拘束される時間は毎朝 9 時から夕方 4 時頃までで、その後は午後 6 時頃まで合唱やボランティアなどの課外活動。夕食後は宿題と、5 時間くらいかけて翌日の予習をするという日々を送りました。

日本がどこにあるかも、アジア人の文化がどんなものかも知らない人たちの生活は、私にとってとても貴重な経験でした。ルームメイトなどには日本の文化や歴史、宗教などを分かりやすく説明しましたし、私自身も、アメリカにもさまざまな文化や環境があることを肌で感じる事ができました。

#### 向き合ってくれる教授陣

アメリカの教育は、学ぶ量が多く、また考えを述べさせられる機会も多くありました。暗記だけで乗り切れない試験は、勉強の仕方が分からず、悔し涙を流したことも。それでも学校が小



課外活動では合唱にも参加。

規模なので教授と 1 対 1 の時間を持つこともよくあり、そんな時に真摯に向き合ってくれる教授陣がいたことは、本当に心強かったですね。また、こちらのこともよく見てくれて、依頼した推薦状に、私の良いところを細かく書いてくれたときには感激しました。

また、私が学部時代を過ごした町は、都会から遠く離れた田舎でした。最寄りの日本食スーパーまで車で 4 時間かかり、エンターテインメントもありません。しかし、その分、学内でのイベントは盛り上がり、また勉学にも集中できる良い環境だったと思います。卒業後の就職や大学院では米国内の他の都市に移りましたが、そこでは世の中との関わりを持ちつつ、勉学に励むことの良さも感じる事ができました。

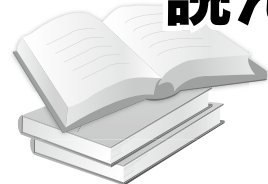
#### 西野 麻理さん プロフィール



1981 年生まれ。1999 年にコルビー大学に入学。卒業後、その後、就職、大学院を経て現在、日本で会社員。

JTスタッフがオススメする

## 読んでほしいこの 3 冊



世界で活躍するには、語学力のみならず、人間の奥深さも大切。読書を通じて、見聞を広めよう。このコラムでは毎回、ジャパネットのスタッフが大学生に向けてお薦めする本をご紹介します。

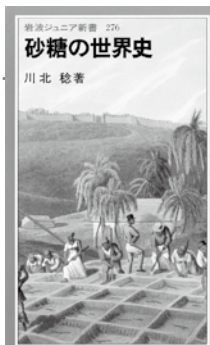
● 今月の推選人 ●

クロスメディア営業部 中川 昇 (なかがわのぼる)

### オススメ 1 砂糖の世界史

今どき甘いものを食べるという経験が特別なものだと考える人はいないと思う。しかし、砂糖が普及するまではどうだったのだろうか? この甘美なる砂糖という生産物をヨーロッパ人が大量に栽培・加工し始めたことで、世界は大きく変わった。人々の食生活が変わった一方、労働に駆り出された何千万人というアフリカ人の運命も変わった。リアルな世界史を知るための良書。

川北 稔 (岩波書店)



オススメ 2

### 子どもたちに語るヨーロッパ史

大人になってから歴史に興味を持ち始める人も多いだろう。巷には歴史を勉強し直すための大人向けの歴史ガイドが数多く存在する。本書は、子ども向けだ。しかし、ヨーロッパの学者がヨーロッパの子どもたちに向けて書いたヨーロッパの歴史の本という点で、大人にも興味深い。要点を押さえてやさしく解説されており、詳述している本より、かえってヨーロッパの歴史像をつかむのに役立つ。

ジャック・ル・ゴフ (筑摩書房)



オススメ 3

### 西洋音楽史

クラシック音楽を聴いていると、その奥深さや豊かさに感嘆することがある。「誰がこんな曲を作ったんだ、天才じゃないか」と。本書では、録音機も再生機もない時代、各時代の作曲家たちがどのような時代の要請から、どのような想いで、数々の名曲を生み出していったのか分かる。譜面にこつこつと音符を刻んで交響曲を作り上げる作曲家は、さながら大聖堂を設計する建築家のような。

岡田暁生 (中央公論新社)





## Study Abroad Benefits

留学で培う3つの力

## 留学で培う3つの力

Vol. 2

国際基督教大学 教養学部アーツサイエンス学科 大内海耶

留学を通して何かを身に付けたり、考え方に影響を受けた人は多い。このコーナーでは「IELTS 北米奨学金」「IELTS Study UK 奨学金」の受賞者たちに、留学で培った3つの力について語ってもらう。今回は、国際基督教大学の 大内海耶さんに話を伺った。

私は、大学の交換留学制度を利用して2011年9月から2012年6月までの10カ月間、カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)に留学しました。現在は国際基督教大学(ICU)教養学部アーツサイエンス学科の4年生で、2013年3月に卒業を

控えています。

「アメリカで経営学を学び、いつかはMBAを取るために大学院に進学したい」という漠然とした夢を叶えるための最初の一步を、この交換留学で踏み出せるのではないかと思います。留学を決意しました。

## ◎勉強力

留学に行く大きなモチベーションとなった経営の授業は、私の勉強に対する姿勢に大きく影響を与えるものでした。経営に対する専門的な知識を得たのは言うまでもありませんが、効率よく短時間で最大限の結果を出す力を身に付けられたと思います。

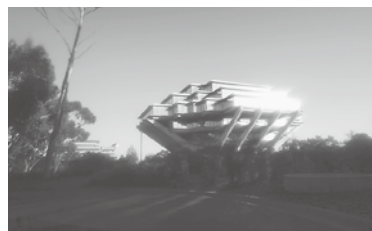
毎日のリーディングやアサイメントの量は今までに経験したことのないもので、最初は どうやってこなしていけばよいのかと途方に暮れたのをよく覚えています。例えば、グローバルビジネス戦略という授業では、週2回授業があり、毎回の授業までに100ページほどのリーディングが与えられました。そのリーディングをせずに授業に臨むと、教授からの質問に答えられず授業への出席点を与えられないだけでなく、その日の授業を理解することが困難になります。しかし、他の授業で与えられる宿題の量と合わせると、毎日徹夜しても終わらない! とパニックになっていました。

そこで周りの生徒を見ると、リーディングで重要な要点を見抜いて、そのリーディングのアイデアを掴み授業で焦点になりそうな部分のみ重点的に読み込む、というスキルを使っていることが分かりました。私は、アメリカ人のクラスメイトに協力してもらい、ハイライトをどこに引いているかを見せてもらいながら、そのような効率的なリーディングを徹底的にマスターし、1カ月後にはリーディングのスピードは数倍にも早くなり、同時に授業への理解度が上がりました。



友人と勉強中

また勉強における時間の使い方もアメリカにいる間に大きく変化しました。以前は、大きな課題やテストの前はストレスからだらだらとずっと勉強することが多かったのです。しかし、とにかくイベントなど楽しいことを全力で行う人が多いアメリカでは、平日は24時間空いている図書館で夜遅くまで勉強する生徒がほとんどですが、木曜日から土曜日にかけては勉強をやめて思い思いに楽しい時間を過ごす友人をたくさん目にしました。私も、週末には勉強を忘れておもしろい楽しみました。友人とパーティーをしたりダウンタウンに繰り出したり、たくさんの観光名所を回ることもできました。そして、日曜日にはまた気持ちを切り替えて、次の週の授業に備えるのです。このような気持ちの切り替えや時間の使い方はこれから先社会に出た後もとても大切になってくるスキルだだと思います。



24時間開放されている図書館

## ◎国際人力

留学中に私を大きく成長させた場所のひとつに International House (I-House) という学内の寮が挙げられます。I-House には、約50カ国から集まる留学生とアメリカ人生徒の計260人が半々の割合で住んでいます。

寮自体はUCSDの中でも最も新しく、部屋は4人でひとつのユニットをシェアし、それぞれがシングルルームを持ちバスルーム、リビングをシェアします。各ユニットでも留学生とアメリカ人は半々です。入寮の際には、数々のエッセイやクリエイティブワークなどを提出し、これに合格すると入寮が認められます。

I-House の一番の魅力は多くの人に出会うチャンスが毎日溢れていることです。I-House では毎週末にどこかでパーティーが行われ、さまざまなバックグラウンドを持つ世界中の人と簡単に交流が図れます。「みんな違ってみんないい」、よくこんな言葉を耳にしますが、まさにI-House はそういう場所だったと思います。考え方の全く違う学生と共同生活をするのは簡単なことではありません。ちょっとした生活習慣など理解できないこともあれば受け入れがたいことがあるのも事実です。しかし、I-House では世界中から集まる留学生



寮での「ハイスクール仮装パーティー」

が、お互いアメリカ留学を契りあるものにしたという共通の目標のもとに、一人一人が持つ文化や考え方の違いを超えて交わり固い絆を結んでいきました。

寮の中ではみんなで集まって何時間とそれぞれの国の政治や社会問題を話しあう機会が多々ありました。例えば、各国異なる教育やライフスタイルについて議論を交わし、色々な価値観を知るだけではなく、当たり前だと思いがちな自分の物の考え方にも向き合うことができました。

アメリカにいながら、世界中の学生と1年間生活できた経験は私を国際人として大きく成長させてくれるものでした。

## ◎キャリアプラン力

留学を考えていた際、大きな障害と考えていたのは就職活動でした。世間で騒がれていた「就職氷河期」真っただ中にあった私は、留学に行く時期とちょうど重なる就職活動のことがずっと心に引っかかっていたのです。4年生の夏に帰って来て果たして就職が決まるのだろうか、会社説明会などに全く参加できないことが不利にならないのか…などたくさんの不安が頭から離れなかったのを覚えています。

私は11月のボストンキャリアフォーラムにて内定をいただくことができたのですが、アメリカに行って自分でも変わったなと思うことは、将来に対する焦りが一年の中で時を重ねるごとに小さくなったということです。

アメリカ人のみでなく世界の大学生にとっても、世界の不景気は就職に大きく影響していて、それにまつわる話は常に絶えませんでした。しかし、彼らから学んだことは、新卒での最初の仕事は長いキャリアの中の小さな一歩であり、自分の目標への通過点でしかないということです。アメリカに留学後、私の中での将来のビジョンがはっきりしました。

まず、留学中に経営の分野に向き合

う中でMBAを取りたいという思いは数倍にも大きくなりました。また、最初はどのタイミングでMBAを取るかなど曖昧にしか考えていなかったのですが、留学中に自分の将来とゆっくり見つめ合う中で、しばらくは内定をいただいた会社で経験を積み、MBAを取得後にさらにキャリアを積んでいきたいと思うようになりました。

もし、留学をしなくて日本でそのまま就職活動を行っていたら、このようにゆっくり自分の将来に向き合う機会が持ちにくかったように思います。世界中の生徒とそれぞれ将来を議論することで、決められた型にはまらずに自分の将来をもっと自由に考えられるようになり、選択肢も大きく広がったのです。



ボストンキャリアフォーラムにて



## University's Challenge

国際交流に取り組む大学

文理融合の教育改革を実施  
グローバルな女性像を確立

## お茶の水女子大学

「21世紀型文理融合リベラルアーツ」を基盤として、2008年から教育改革を行ってきたお茶の水女子大学。今年度は文部科学省が募集した「グローバル人材育成推進事業」（全学推進型）に採択され、より本格的にグローバル化を推し進めることとなった。事業の内容とこれからの目標について、羽入佐和子学長にうかがった。

## グローバル人材育成事業が発進

「日本で開催された今年の国際通貨基金（IMF）・世界銀行年次総会で、女性として初めてIMFトップに就任したクリスティーヌ・ラガルド専務理事が、こう語っていました。『日本経済が立ち直ることができるかどうかは、日本の女性の経済への貢献にかかっています』と。私どもは、日本における国立の女子大学として、グローバルな視点を持ち、社会のリーダーとして活躍できる女性を育てたいと考えています」と、羽入佐和子お茶の水女子大学学長。

日本を代表する女子大学である同大は、2008年にそれまでの教養教育を改革し、「21世紀型文理融合リベラルアーツ」をスタートさせた。これは、単に専門教育の前段階としての教養教育を行うのではなく、グローバル社会の中で必要とされる発信力・交渉力・幅広い視野・変化に対応する判断力などを、文系・理系の枠を超えて学ぶものだ。これに加えて、「複数プログラム選択履修制度」を実施。自分の専門以外の多彩なプログラムを同時に学ぶことで、さまざまな職業分野で活用できる、幅広い見識と応用力を身に付けることができる。

こういった改革を経て、今年度より5年間、文部科学省に採択された「グローバル人材育成事業」に取り組むこととなった。「一からグローバル化を始めるのではなく、これまで行ってきたさまざまな国際化の工夫を、今回の事業に生かします。教員同士、教員と学生同士が近いところにいる、小規模大学ならではの良さを生かし、成果を出したいと考えています」

## 海外に出るための「発信力」を強化

今回の事業の柱となっているのは、まず「発信力」の強化。ツールとしての語学力



羽入佐和子学長は、お茶の水女子大学大学院を修了、講師・教授を経て2009年より現職。哲学・倫理学・比較思想を専門とし、ドイツの哲学者ヤスパーズに関する著書多数

を磨くと同時に、グローバル社会で受け入れられるためのコンテンツ（中身）を持った人材になることを目指す。

強化のひとつの例として、外国語教育を「スピーキング、ライティング、プレゼンテーション」のスキルを重視した発信型にするという目標がある。全学で英語の必修単位を増やし、1年次からスピーキングとライティングを必修とするという。

また、海外の大学で学ぶ際に必要とされるようなプレゼンテーション能力を鍛えるために、Advanced Communication Training (ACT) プログラムを設置。留学前または留学後に、より発信力を伸ばすことができるようトレーニングする。

このほか、学生の自主学習を強化するためにEラーニングの教材を導入したり、ネイティブ・スピーカーが個別に英語論文の作成指導などに当たる「全学英語支援デスク」を設置するといった計画が進んでいる。また、国外に出ることなく英語に触れられるよう、英語オンリーで生活する「英語キャンプ」も実施される。

事業の計画立案に携わってきた河村哲也副学長は、「グローバル型の人材像としては、一般に、語学力・コミュニケーション力、主体性や積極性、異文化理解と日本人としてのアイデンティティといったことが求められるかと思いますが、本学ではさらに、『お茶大型人材像』を目指しています」と言う。お茶大型人材像とは、英語だけではなく、中国語など第3言語を含めた「多言語能力」、多文化に対応することができる「多文化化リテラシー」、グローバル時代に求められる「社会性」、「IT技術」を身に付けた人材を指している。

## 目標は「学生の半数が留学」

この目標を実現させるため、学内の外国語教育を充実させるとともに、留学推進にも力を入れている。現在、海外の大学との交換留学制度や海外短期研修といった制度を利用し、全学生の約1割が留学などの海外派遣を経験しているが、いずれは「卒業までに全学生の半数が留学を経験」という数値を達成したいそうだ。

お茶の水女子大学は、イギリスのオックスフォード大学、韓国の梨花女子大学など全世界に52の交流協定校を持っているが、過去4年間に協定校を約20増やしたという実績を持つ。短期研修などを含めた留学経験者の数を見ても、5年前の約



学内で英語に触れられる環境が整っている

5倍となっており、学生の留学への関心の高さがうかがわれる。最近韓国に留学した学生は、「近くて遠い国と言われる韓国では、カルチャーショックを感じることも少なくありませんでした。その際は、日本人としてのアイデンティティは大切にしながらも、対立することなく、まずは相手の文化や習慣を尊重することを心がけました」といった感想を述べている。

一方、外国人学生の受け入れ数は震災の影響で、一時的に減少しているが、それでも現在240人以上が在籍している。これは、全校の学生数の約8パーセントにあたり、日本人学生は、東京・文京区のひとつのキャンパスの中で、外国人学生と交流する機会を頻繁に持つことになる。

昨年は、留学生と日本人学生に向けて英語で授業を行う「サマープログラム」を5日間開催。テーマは「現代日本の家族と労働」、「形・色・美」で、前者は社会学と心理学などを組み合わせた学際的な分析を行い、後者も物理学・化学・数学などの観点を交えた斬新な講義となった。英語によるスモールディスカッションもあり、学生たちにとって大いに刺激になったとのことだ。

卒業生は企業・官庁・学校など順調に就職している例が多いが、今後さらに企業との連携を強化し、「企業に求められる人材」の育成に努める。例えば、現在、女性リーダーを育てるための「キャリアデザインプログラム」を実施している。キャリアプラン、ライフプラン、IT、社会科学などを総合的に学び、企業でのインターンシップも体験。将来に向けて、自分の能力や適性を発見し、就職活動に具体的に役立つような取り組みを行っている。

## 海外での研修で刺激を受ける

留学に限らず、タイやフィリピン、アフガニスタンなど開発途上国への支援を通して、海外の人々と触れ合う機会があるのも、同大の大きな特徴だ。「アフガニスタンや中西部アフリカの人々を招いて大学の施設で理科教育研修や、大学付属の幼稚園で幼児教育研修を行ったり、フィリピン、ベトナム、東ティモールを訪れ、開発活動の研修を行ってきたりしました。ただ本を読んだり人の話を聞いたりするのではなく、実際に自分が異なる文化の中に身を置き、現地の様子を知ることは、非常に大切な経験だと思います」と、鷹野景子副学長。ベトナムの保育施設などを訪れるうちに、学生の間でボランティア活動に対する関心が高まっていったそうだ。「ドイツに環境教育を学びに行った学生もいるのですが、それをきっかけに、学内で講演会などを企画した学生もいました。海外で得た知識や経験が、その後の活動の大きな原動力となっているのです」

身近なところから国際化を進めるため、同大では、校歌「みがかずば」をテーマとしたバイリンガルのリーフレットを作っている。「みがかずば」とは、「原石」である自らを磨き、自分を成長させようという思いが込められた言葉だが、羽入学長はこのリーフレットのためにキーワードを考案、Communication（表現と理解のスキル）、Creativity（発想と思考のスキル）、Organization（協力と組織化のスキル）の大切さを伝えている。「グローバル社会のリーダーとなるためには、これからさまざまな困難に直面することがあります。心遣いと知性、そしてしなやかな、力強い女性になってほしいと思っています」

## お茶の水女子大学

1875年、東京女子師範学校として発足し、1949年、お茶の水女子大学として開学。東京都文京区のキャンパスに幼稚園・小・中・高を併設。国立の女子大学は同大と奈良女子大学のみ。校歌の「みがかずば」は明治天皇の皇后に下賜された御製歌で、「日本初の校歌」とされる。



## IELTS

テストのコツ

ブリティッシュ・  
カウンシル  
に聞く

## IELTS テストのコツ

by Luke Lawrence

今回は、IELTS のスピーキングテストの効果的な対策法をご紹介します。限られた試験時間内で英語力を発揮し、試験官に好印象を与える方法について見ていきましょう。

## 評価基準について

IELTS のスピーキングテストは「流暢さと一貫性」「語彙の豊富さ」「文法の知識量と正確さ」「発音」の4つの観点で評価が行われます。テストは3つのパートから構成されますが、今回はパート2と3について例題とその対策法を検証していきましょう。

## パート2 スピーチ

このパートでは、あるトピックについて1～2分間(2分以内でできるだけ長く)話す必要があり、その準備のために1分間が与えられます。この準備時間の間に、質問のトピックに関連する事柄をメモ用紙に書き出し、話す内容を整理しましょう。ここで書き出すのはあくまで簡単なメモであり、これを見ながら話すわけではありません。それでは例題と2つの解答例を見てみましょう。

## 例題：

Q: Talk about a time when you had trouble communicating. Say:

- when it was
- where you were at the time
- what the problem was
- and how you felt about it

## 解答例：

例1 (抜粋)

"I will talk about a time when I had a problem communicating. When it was was 4 years ago and it was summer. Where it happened was Thailand, in Bangkok, in a shop. What the problem was was that I wanted to exchange trousers because I had bought the wrong size the day before....."

例2 (抜粋)

"Well, to be honest, I often have trouble communicating, but I remember once when it was especially bad! I was in Bangkok, in Thailand and it must have been...oh...3...no 4 years ago and I remember being really excited because it was the first time I had been abroad without my mum and dad. Anyway, I wanted to get something nice for myself, so I bought these Thai-style trousers – you know, the kind with wide legs that you fold over at the top. The shop was about to close and I didn't have time to try them on, so I just bought the size that looked right, but when I got back to the hotel...."

解答例の一部を2種類ご覧いただきましたが、どちらが良いと思われましたか？

例2の方が自然で流れがあり、より良い解答といえます。「well」「to be honest」「it must have been...」「anyway」「you know」などさまざまな語彙や言い回しを効果的に使うことで、文につながりが生まれています。また、話者である受験者が細かい事項(it was the first time I had been abroad without my mum and dad など)を多く付け加えることで、聞き手である試験官はスピーチの内容をより具体的に思い描くことができるようになります。詳細な情報を追加することは、スピーチを良いものにするための重要なポイントです。さらに形容詞や強意語(especiallyやreallyなど)もうまく使っており、語彙力の高さを示すだけでなく、聞き手を引き付けることにも成功しています。

一方、例1は質問に順番どおりに答えており、「when it was...」のように質問に登場してい

る文をそのまま繰り返し使用してしまっています。日本人のIELTS受験者によく見られる傾向ですが、とても不自然な印象を与えるので、避けるようにしましょう。また、最初の一文は、不自然なだけでなく古い言い回しであり、不必要です。本題から入りましょう。

パート2では、誰かにおもしろい話をするときのことを想定すると良いでしょう。つまり、わかりやすい始まり(起)、何が起こったのかを伝える話の軸(承・転)、そして個人的な感想を織り交ぜたわかりやすい結末(結)を意識するのです。話を盛り上げ、自分の英語力の豊かさを示すためにも、細かいネタを多く織り交ぜ、単語や熟語をうまく活用しましょう。

## パート3 ディスカッション

パート3では、掘り下げた質問がされ、より深く自分の考えや意見を述べるのが求められます。例題と解答例を見てみましょう。

## 例題：

Q: What steps can the government take to improve English ability in your country?

## 解答例：

"Hmm...that's a difficult one, but I think first of all they should make it compulsory for children to start learning English as soon as they start primary school. That would help them get used to the sound and feel of English at the same time as they are still learning Japanese. And..... what else?...erm....I'm not sure how effective it would be, but I really wish I'd had more chance to actually speak English at school, so, it might be a good idea for the government to introduce speaking tests as part of high school and university entrance exams. That would definitely force people to start speaking more....I'm not sure it would work though!"

解答例では、2つの解決策を提示し、それぞれの策について理由や正当性を述べています。確かな裏付けもなく解決策だけを提示しても説得力がありませんので、注意しましょう。

使われているテクニックとしては、考える間をつなぐ際の自然なフレーズ(「Hmm...that's a difficult one」「And.....what else?...erm....」など)があります。また、「first of all」など順序を表す語句や、「I'm not sure it would work though!」のように終わりを示唆するような結びの一言を使うのも効果的です。

4つの評価基準に沿っても見てみましょう。「government」を「they」と言い換えるなど、指示語を適切に使うことによって、流暢さと全体のまとまりが出てきます。語彙の豊富さは、「compulsory」のような応用単語、「I think」「It might be a good idea to...」などのフレーズ、「really」「definitely」などの強意語を使用することでアピールできます。また、文法力については、異なる時制の使い分け(「I really wish I'd had」など)に注意します。これらを意識しながら、自然な間を取り、適切なイントネーションで話すことで良い評価が得られるでしょう。また、話す長さもこれくらいで問題ありません。

## まとめ

- ・どのパートにおいても、できるだけ多くの情報を盛り込み、話を完結させましょう。
- ・環境、雇用、経済問題、文化など、幅広い話題についての考えや意見を準備しておきましょう。
- ・話をより興味深くし、聞き手を引き込むために、話し方にバリエーションをつけましょう。
- ・さまざまな語彙やフレーズ、文法構造を使い、英語力を示しましょう。
- ・短く自然な間を取りましょう(間がないと機械的に聞こえてしまうため)。ただし、2秒以上は空けないようにします。
- ・試験官の目を見て、笑顔ではっきり大きな声で自分の意見を述べましょう。
- ・文法の正確さは評価基準のひとつに過ぎません。重要なのは、筋道の通った内容を自然に適度な流暢さで述べられているかどうか、自信を持って話せているかどうかです。
- ・個性を出しましょう。自分を見せることを躊躇せず、あるがままの姿で臨みましょう。
- ・スピーキングテスト自体を楽しみましょう。

IELTS™

IELTS.  
The international  
license.IELTSという名の  
国際免許証

IELTS (International English Language Testing System、アイエルツ)は、英語圏への留学や、移住を志す人の英語能力を評価するために作られたテストです。信頼性、公平性の高さからイギリス、オーストラリア、アメリカ、カナダを始め世界135カ国で約7,000の機関が、IELTSを受け入れ基準として認めています。2011年の全世界合計の受験者数は、170万人に達し、英語能力試験のグローバルリーダーの役割を果たしています。

日本では、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、岡山、福岡、札幌、仙台、金沢で受験することができます。

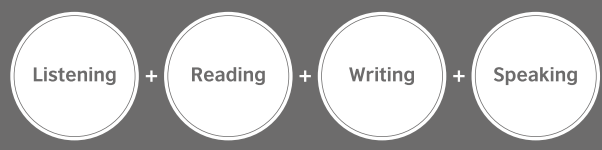
お問合せ・受験申し込みは、公益財団法人 日本英語検定協会 IELTS 事務局まで

[www.eiken.or.jp/ielts](http://www.eiken.or.jp/ielts)

## IELTSとは...

16歳以上を対象にしたテストで、英語で授業を行う大学や大学院に入学できるレベルに達しているかどうかを評価するアカデミック・モジュールと、英語圏で学業以外の研修を考えている方向けのジェネラル・トレーニング・モジュールの2種類があります。いずれも、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのテストで構成されています。

IELTSは、フェアな試験内容と高い信頼性が特徴のテストです。一般的な英語検定テストと特に異なるのは、1対1の面接形式で行われるスピーキングテストがあることです。試験官が、受験者のコミュニケーション力を最大に引き出し、評価できるようにインタビューを行います。これが、他のテストと一線を画す、生きた英語を習得できるのがIELTSの強みです。



ブリティッシュ・カウンシルでは、IELTS 試験対策コースを東京・横浜で開講中!!

[www.britishcouncil.or.jp](http://www.britishcouncil.or.jp)



勉強法や留学した人の体験談がわかる  
<https://www.facebook.com/bcofficialIELTSjp>

公益財団法人

日本英語検定協会



公益財団法人 日本英語検定協会は、  
ブリティッシュ・カウンシルと  
日本でのIELTSを共同運営しています

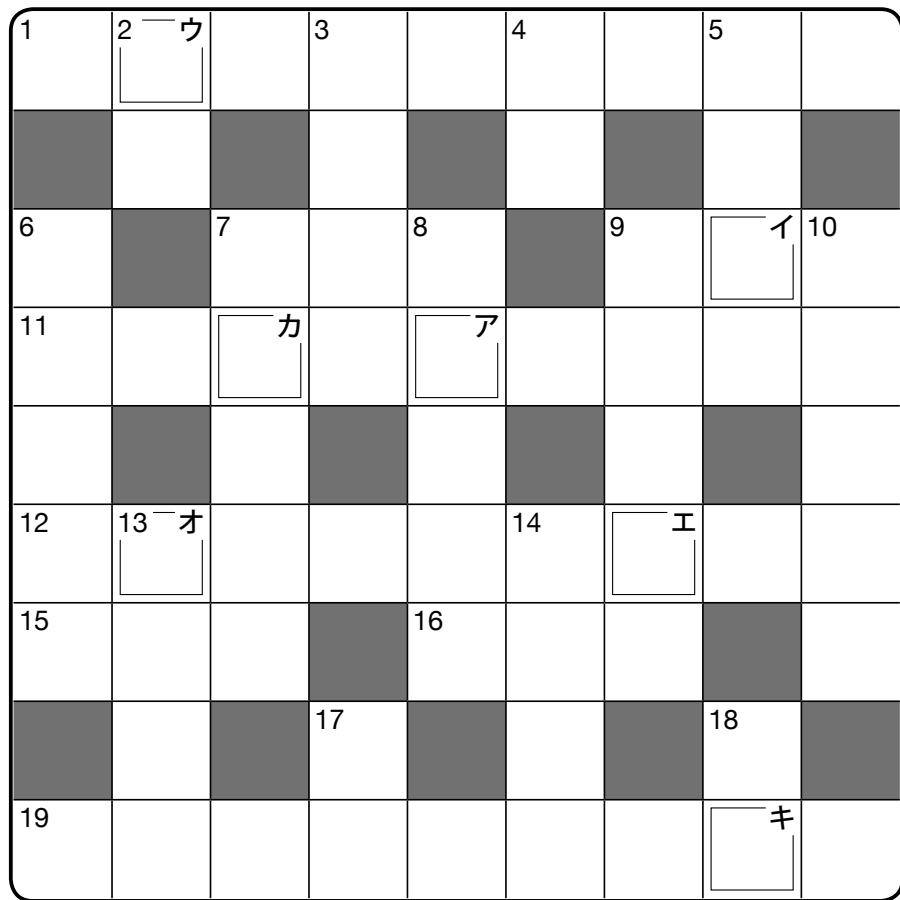


# Crossword and Trivia

読み物

## Crossword Puzzle by 黒須和土

今回から始まるクロスワードパズル。簡単ではないかもしれませんが、根気よく挑戦してみましょう！



### ACROSS

1. Temple in Greece
7. American cable television channel
9. Hole in the ground
11. The \_\_\_\_\_ National Park in Tanzania
12. The \_\_\_\_\_ Islands (famous for Darwin's theory of evolution)
15. Electric \_\_\_\_: *denki-unagi*
16. Cunning
19. Temple complex in Cambodia (2 words)

### DOWN

2. "Port-\_\_-Prince is the capital of Haiti."
3. Long hollow cylindrical object
4. \_\_ Salvador
5. Leave out
6. Way something is used
7. Supernatural giant that dwells in mountains
8. Breaks suddenly
9. Nickname for *Margaret*
10. Slightly intoxicated
13. Indefinitely long period of time (also spelled eon)
14. Winglike
17. All right
18. Ile de \_\_ Cite, Paris



※週刊STより転載

### ヒント

「旅行」がテーマのパズルです。1-Across は神殿の名前。1、3、5字目は P、R、Hです。7-Across は Turner Broadcasting System の略。11-Across の2、6字目は Eと G。19-Across の1、3、5字目は A、G、Oです。12-Across の Darwin's theory of evolution は「ダーウィンの進化論」。2-Down は「ポルトープランス」。「王子の港」という意味です。6-Down は「使用、使用法」。最初は U。7-Down は「トロール」。8-Down は「ポキッと折れる」。3字目は A。9-Down の Margaret にはいろいろな愛称があります。10-Down は「ほろ酔いの」。18-Down はセーヌ川の中州である「シテ島」。「パリ発祥の地」といわれます。

【作者のひとこと】7-Down の答えは民話に出てくる巨人(または小人) のことですが、最近ではネットの掲示板などを荒らす人も こう呼ばれます(この言葉は「流し釣り」を意味する「トロール」に由来するという説もあります)。

## 教えて! 英語のプチ教養

文：黒須和土

シェークスピアはいろいろな言葉や言い回しを作ったそうですが、どんなものがあるか教えてください。

シェークスピアは、名詞を動詞にしたり、形容詞を動詞にしたり、2つの単語をくっ付けて1つにしたり、単語に接頭語や接尾語を付けたりして新しい言葉を作り出しました。その後、廃れてしまった言葉も多いのですが、現在でもシェークスピアが作った1,700語以上の言葉が日常的に使われています。その中には eyeball (眼球)、fashionable (ファッショナブル)、assassination (暗殺) などがあります。

また、シェークスピアは、いろいろなフレーズを作り出し、その多くがことわざや慣用表現として今でもよく使われています。①意味、②フレーズが登場した劇の名、の順で主なものをご紹介します(複数の劇に登場した場合、劇名は一つに絞りました)。

- ・ **All's well that ends well** ①終わりよければすべてよし (ことわざ) ②同名の喜劇
- ・ **All that glitters is not gold** ①輝くものすべてが金とは限らない (ことわざ) ②『ヴェニスの商人』
- ・ **Break the ice** ①座をなごませる、(話などの) 口火を切る ②『じゃじゃ馬馴らし』
- ・ **Catch (a) cold** ①風邪を引く ②『トロイラスとクレシダ』(シェークスピアはこの言葉を「寒いところにいて冷え込む」という意味で使いましたが、のちに「風邪を引く」という意味になりました)
- ・ **Dead as a doornail** ①まったく息が絶えて ②『ヘンリー六世 第二部』
- ・ **Fair play** ①フェアプレー ②『ジョン王』(当時、foul play (裏切り行為) という言葉がすでにあり、それをもじって作られました)
- ・ **Forever and a day** ①永久に ②『お気に召すまま』
- ・ **Frailty, thy name is woman!** ①弱き者よ、汝の名は女なり ②『ハムレット』
- ・ **Green-eyed monster** ①嫉妬、やきもち ②『オセロ』
- ・ **Heart of gold** ①美しい心、高潔な人 ②『ヘンリー五世』
- ・ **It is Greek to me** ①ちんぷんかんぷんだ ②『ジュリアス・シーザー』
- ・ **Laughingstock** ①物笑いの種 ②『ウィンザーの陽気な女房たち』
- ・ **Love is blind** ①愛は盲目 ②『ヴェニスの商人』
- ・ **Star-crossed lovers** ①薄幸な恋人たち ②『ロミオとジュリエット』
- ・ **Salad days** ①未熟な青年時代、青二才の時代、若さの絶頂 ②『アントニーとクレオパトラ』
- ・ **The world is my oyster** ①何もかも思いのまま ②『ウィンザーの陽気な女房たち』

※週刊STより転載